

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

|                                      | 項目数        |
|--------------------------------------|------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>                   | <b>22</b>  |
| 1. 理念の共有                             | 3          |
| 2. 地域との支えあい                          | 3          |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用                | 5          |
| 4. 理念を実践するための体制                      | 7          |
| 5. 人材の育成と支援                          | 4          |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         | <b>10</b>  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応            | 4          |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援            | 6          |
| <b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> | <b>17</b>  |
| 1. 一人ひとりの把握                          | 3          |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し       | 3          |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援                    | 1          |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働          | 10         |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>     | <b>38</b>  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                      | 30         |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり              | 8          |
| <b>V. サービスの成果に関する項目</b>              | <b>13</b>  |
| <b>合計</b>                            | <b>100</b> |

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

|                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 事業所名            | 社会福祉法人鶴寿会 グループホーム さわやか |
| (ユニット名)         |                        |
| 所在地<br>(県・市町村名) | 宮城県柴田郡川崎町              |
| 記入者名<br>(管理者)   | 所長 内形 尽臣               |
| 記入日             | 平成 19年 8月17日           |

宮城県

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |   |
|--------------------|--|---|----------------------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |  |   |                                  |   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |  |   |                                  |   |
| 1                  | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>      | <p>利用者が地域の中でその人らしく暮らし続ける事を支えていくサービスとして地域密着型サービスの意義を職員全員で理解はしているものの、その役割を反映すべき独自の理念をまだ作り上げていない為、早急に対応して行きます。</p>               | ○                                | <p>今後「さわやか」独自の地域密着型サービスとしての理念作りを早急に行い全職員が周知出来る様にしていく。</p> |
| 2                  | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>                         | <p>毎日、法人理念・さわやか独自の理念を唱和し、ミーティングでは理念を具体化しながら統一を図っている。</p>  |                                  |   |
| 3                  | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>毎月発行している「さわやか」広報誌を各機関や家族の方に発送し、事業所の実践を理解してもらえようようにしている。</p>  |                                  |   |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |  |   |                                  |   |
| 4                  | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>地域性もあり、来ていただくというよりもこちら側から外出・買い物の一環として日々地域の方たちとの触れ合う機会を多く取り入れている。面会や見学・ボランティア等は時間の許す限り対応をしている。</p>                          |                                  |   |
| 5                  | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>   | <p>川崎町の行事「支倉常長祭り」・町民文化祭・町民運動会・地域のお祭り等常に、町の広報誌やチラシ等で情報をキャッチし積極的に参加をしている。保育所・地域の学校の行事にも積極的に参加し、地元の高校生の奉仕作業のボランティアも来て頂いています。</p> |                                  |   |

| 項 目                   |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 6                     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                  | 人材育成の貢献として実習生及び研修生の受け入れを積極的に行っています。  |      |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |   |  |      |                                  |
| 7                     | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                           | 朝の申し送りや職員会議の時間を利用して全職員で自己評価を行い統一したケアができるよう努めている。また外部評価の結果も全員で閲覧し、改善すべきところは具体案を検討しあう。               |      |                                  |
| 8                     | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている           | 運営推進会議で取り上げられた検討事項や提案事項について各会議等にて報告して頂き前向きに取り組むを行なっている。行事への参加や内容についても報告をし、いろいろな意見を頂き反映させている。       |      |                                  |
| 9                     | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                            | 日頃より、市町村の担当者と連絡を取り合っており、情報の提供はもとより、利用者のサービス向上に繋がるよう、担当者の意見等を反映出来るよう常に取り組んでいる。                      |      |                                  |
| 10                    | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 現在成年後見制度など必要なケースはいませんが今後必要な状況になった場合随時理解対応が出来るよう、今後も研修会や専門職からのアドバイスをうけながら知識を深め、利用者の支援に結び付けていくようにする。 |      |                                  |
| 11                    | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている            | 毎朝の申し送りの中で、虐待につながるような行為などを早期に気付き、高齢者の虐待防止に注意を払っている。  |      |                                  |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|------------------------|---|--|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |  |  |
| 12                     | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                 | <p>入所時にご利用者様、ご家族の方と十分な話し合いの時間を持ち、納得していただくまで説明し同意を得るようにしている。</p>  |  |
| 13                     | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>利用者の日頃の会話や態度から思いを察する努力や気づきを見逃さない努力をし、利用者様主体の運営を心掛けております。(日々生活状況・行事・食事・外出等)</p>                                  |  |
| 14                     | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | <p>毎月の園独自の便りを作成し、写真なども取り込み園での様子が分かるように送付している。また、担当スタッフより個別に便りを作成し同封している。金銭管理面においても、個別に出納長を作成し毎月ご家族に確認をいただいている。</p> | <p>○</p> <p>今年度4月より実施している担当職員からの現況報告書と利用者様個人の写真の送付を毎月請求書・「さわやか」便りと共に送付をしている。</p> |
| 15                     | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>ご家族様の面会時には状況について話しをする機会を必ず設け何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。出された意見や要望については職員間で話し合い反映させている。</p>                       |  |
| 16                     | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>  | <p>毎月の職員会議時に、職員の意向等を確認し、意欲的な意見があれば随時反映に結び付けている。また、それ以外でも出勤職員と話し合う機会を多く持つようにし、提案その他の意見を聞けるように配慮している。</p>            |  |
| 17                     | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>                      | <p>出来る限り、利用者の方の生活パターンに支障がないよう利用者の方のペースに合わせたローテーションを組んでいる。また、その都度必要に応じて職員間の勤務変更を行なっている。</p>                         |  |
| 18                     | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>職員の異動や新しい職員が入る場合は、利用者様にきちんと挨拶や紹介をしている。</p>  |  |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |  |   |                                  |
| 19                               | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>           | <p>今年の2月より法人主催のニュークリエイト研修に参加をしている。4月からは、各事業所の幹部職員が1年間を通して法人主催のニュークリエイト研修を受ける事になり、実践され職員会議等で報告をし実際に現場の仕事に反映している。</p> |                                  |
| 20                               | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>宮城県グループホーム協会に加入し、勉強会や研修会には積極的に参加をしています。又、事例報告会や交換研修・相互評価事業にも積極的に取り組みサービスの質の向上を目指している。</p>                        |                                  |
| 21                               | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                    | <p>日常的に職員の話しを十分に聞く時間や場を採り入れ、ストレスや悩みを把握するように努めている。</p>   |                                  |
| 22                               | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                        | <p>職員の資格取得に向けたアドバイスや資料等を提供し、仕事に対しての意欲に繋がるよう努めている。</p>   |                                  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |  |   |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                  |
| 23                               | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>             | <p>入所する前の事前面談で、今までの生活状態を把握するように努め、ご本人の状況を把握する事によって信頼関係を作っている。</p>   |                                  |
| 24                               | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                  | <p>利用に至るまでの家族の体験や思いを十分に受け止める努力をし、信頼関係を築いている。</p>  |                                  |

| 項目                               |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                | 日々のケース記録を基に生活状況などを確認し合い、改善に向けた支援を行ない、必要なサービスを行なっている。  |      |                                  |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者様は常に人生の先輩であるという考えを職員で共有し、利用者様に教えてもらう場面が多く、利用者様が発する言葉を見逃さず書き留めている。又、そういった場面が多くもてる工夫や声かけに配慮している。又、利用者様の思いや不安、喜び、苦しみを知る事に努め共に支えあえる関係づくりに留意している。 |      |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |   |   |      |                                  |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 職員は利用者様は人生の先輩であるという考えを共有しており、食事準備や農作業など日常生活の中で教えていただく事が多い。何事もしてあげるのではなく、一緒に行うという事に徹底している。   |      |                                  |
| 28                               | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                  | 面会時や電話などでは、ご家族様に利用者様の様子や職員の対応等についてきめ細かく伝える事で、ご本人様を支えていく為の協力関係等が築けている。   |      |                                  |
| 29                               | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                      | 行事を実施する際には必ずご家族に連絡をし、参加していただけるように働きかけを行なっている。また、毎月利用者様の写真と現況報告のお手紙を郵送し、日々の生活の気付きなどを共有できるように留意している。  |      |                                  |
| 30                               | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている  | いままで利用している美容院に今も行き続けている利用者様、毎日神棚に水を上げ下げを続けている利用者様がおり、一人ひとりの生活習慣を尊厳しております。地域に暮らす馴染みの知人等に出掛けたり、来園して頂いる。   |      |                                  |
| 31                               | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                                       | 個別に話しを聴いたり、相談に乗ったり、楽しく過ごす時間や気の合う者同士で楽しく過ごせる場所などを提供し、利用者同士がうまく行くように支援している。毎日のお茶や食事の時間は職員も一緒に会話をもち、役割活動等を通し利用者同士が円滑になるよう働きかけている。                  |      |                                  |

| 項 目                                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 32                                 | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 他の事業所へ移られた利用者様と会うきっかけが出来た時は、積極的に声かけを行う。又、ご家族様から相談があった場合は、一緒に考えたりし相談に乗っている。  |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |   |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |   |   |      |                                  |
| 33                                 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日々の言葉や表情、行動などから、声かけを行い把握に努めている。意思疎通の困難な利用者様には、ご家族様や関係者から情報を得たりしている。   |      |                                  |
| 34                                 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 面接時には、ご本人様やご家族様、関係者の方たちから多くの情報を聞き取るようにしている。利用後も、会話の中からどんな生活をしてきたのかを聴いている。   |      |                                  |
| 35                                 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 行動や動作から感じ取り、本人の全体像を把握している。出来る事に注目し、その人全体の把握に努め安心と安全を保ちその人らしく生活できるよう努めている。   |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |   |   |      |                                  |
| 36                                 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 日頃から利用者様一人ひとりの言葉や思いを見逃さない支援を心掛け、面会時や電話などでは常に状態の説明とともにご家族様からの要望を伺い、反映させるようにしている。アセスメントを含めた職員間での意見交換やモニタリング、カンファレンスを行なっている。 |      |                                  |
| 37                                 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の遂行状況、効果などを評価しながら記録による状態変化や状況、家族・本人の要望に即した見直しを行なっている。   |      |                                  |

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 個別のファイルを作成し、ケア記録を記載し情報を共有しながら日々の職員間の統一したケアにつなげている。また健康面については赤のペン、精神面での変化については青のペンで記述し見やすいようにしている。                        |      |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |  |      |                                  |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 利用者様、ご家族様の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、利用者様の満足度を高めるよう努力している。  |      |                                  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |  |      |                                  |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 利用者様の趣味や興味のある事が地域で開催されている情報があれば積極的に参加をしている。(町主催の手芸作りへの参加・健康教室への参加等)  |      |                                  |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 川崎町のケアマネジャー協会に属し、他事業者のケアマネジャーとの情報交換や町独自の事業についての情報を聞く勉強会に参加をしている。今後、ご利用者の意向や必要性があれば情報源を基にし、支援に取り入れていきたい。                  |      |                                  |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加され、周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。  |      |                                  |
| 43                                 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人様やご家族が希望するかかりつけ医になっている。通院や受診は利用者様やご家族の希望に応じて対応している。基本的にはご家族様同行の受診となっているが、不可能な場合には職員が代行するようしており、利用契約時にその旨を説明し、同意を得ている。 |      |                                  |

| 項目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|------|----------------------------------|
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |      |                                  |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   |      |                                  |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |      |                                  |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   |      |                                  |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |      |                                  |
| 49 | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>                      |      |                                  |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |  |  |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                  |  |  |                                  |
| (1)一人ひとりの尊重                      |  |  |                                  |
| 50                               | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                     | さりげないケアに努め、人前であからさまに介護したりする事のないように注意を払っている。プライバシーに関する話をする時等は場所を選び他に漏れないようプライバシーの確保を徹底している。             |                                  |
| 51                               | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 意思表示が困難な利用者様には、多方面での働きかけを工夫し、些細なことでも利用者様が決める場面を作っている。  |                                  |
| 52                               | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している       | 1日の流れは持っているが、時間に決められた生活はしていない。その日の天候や利用者様の体調に合わせ、外出や入浴などの支援を行なっている。                                    |                                  |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援     |  |  |                                  |
| 53                               | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | 入浴後の着替えや外出時の着替えは、利用者様と一緒に選択をし季節感などに配慮している。また、今までの生活歴を大事にし利用者様の馴染みの理美容室でカットなどをしていただけるように、連携を図っている。      |                                  |
| 54                               | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている           | 献立は決まっているが、その日の体調や天候に応じて利用者様と相談をし変更している。また、献立を作成する際には利用者様から食べたいものを伺っている。調理から片付けまで利用者様と話をしながら楽しく行なっている。 |                                  |
| 55                               | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                   | 職員は利用者様の嗜好物を理解しており、その日の体調や時間を見ながら楽しめる機会を設けている。また、お酒の好きな利用者様には行事などの時に、楽しんでいただけるように支援を行なっている。            |                                  |

| 項目                                   |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 56                                   | ○気持よい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している         | 行動や小さな動作を把握し、トイレ誘導をする事でトイレでの排泄を促している。オムツ使用している利用者様には、時間を決めポータブル介助を行なっている。                                   |      |                                  |
| 57                                   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | 一人ひとりが気持ちよく入浴していただけるように、入浴時間の確認やお湯の温度の調節などに気を配りくつろいだ気分で入浴していただいている。   |      |                                  |
| 58                                   | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | 日中の活動を促し昼食後には昼寝の時間を確保、生活のリズムを整えるよう努めている。  |      |                                  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |  |   |      |                                  |
| 59                                   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 利用者様の生活歴を把握した上で、今までの経験や得意分野で力を発揮していただけるような場面を作っている。行なっていたいただいた事への感謝の言葉は必ず伝えるようにしている。                        |      |                                  |
| 60                                   | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | ご家族の協力を得て、自分でお金を持っている利用者様もいる。買い物の際にはご自分で払っていて、小銭などは一緒に確認をしながら手渡している。  |      |                                  |
| 61                                   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                     | 天気や御本人様の体調に応じて散歩やドライブ、買い物などに出掛け、季節を肌で感じていただけるようにしている。   |      |                                  |
| 62                                   | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 利用者様が行きたいと思う外出については、予め計画や職員の勤務調整をし、実行している。また、個別に映画鑑賞に出掛けるなどの配慮も行なっている。外出の際は、家族の方に必ず事前に連絡を行い一緒に出掛ける機会を設けている。 |      |                                  |

| 項目                    |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 63                    | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 利用者様の希望に応じて、日常的に電話しやすいように支援している。また、お正月には家族や知人に年賀状を出すように時間などを設けている。  |      |                                  |
| 64                    | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | ご家族様の面会が気軽に来易い雰囲気作りや声かけに配慮をしている。時間帯についてもご都合のよい時間に来ていただけるよう訪問時間は決めていない。気兼ねなく過ごしてもらえるようスペースを整え、居心地の良い空間をつくるよう心掛けている。職員は、気持ちのよい挨拶と笑顔を心がけている。 |      |                                  |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |   |   |      |                                  |
| 65                    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 高齢者の権利擁護や身体拘束については、研修会等に参加をし、研修報告をする事により全職員の共有認識を図っている。又、ケアの振り返りを行うことで自覚しない拘束が行なわれていないか見直しをしている。  |      |                                  |
| 66                    | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 安全面に配慮し、見守りを徹底することにより、日中は玄関の鍵をかけることなく自由な暮らしを支援している。   |      |                                  |
| 67                    | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 職員は利用者様と同じ空間で記録等の事務作業を行ないながら、さりげなく全員の状況を把握するようにつとめている。  |      |                                  |
| 68                    | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 利用者様の状況を把握しながら、厳重に保管すべきもの、保管管理が必要なもの、利用者様が使用する時に注意が必要なもの等職員間で把握し対応をしている。  |      |                                  |
| 69                    | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 日々のヒヤリハットを記録し、職員の共通認識を図っている。事故が発生した場合には自己報告書を作成し、事故の原因の今後の予防対策について検討し、ご家族様への説明と報告を行なっている。   |      |                                  |

| 項目                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|------|----------------------------------|
| 70                         | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>                 |      |                                  |
| 71                         | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>   |      |                                  |
| 72                         | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> |      |                                  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |   |      |                                  |
| 73                         | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           |      |                                  |
| 74                         | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       |      |                                  |
| 75                         | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         |      |                                  |
| 76                         | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                    |      |                                  |

| 項 目                     |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 77                      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 毎日の食事や水分の摂取状況をチェック表に記録し情報を共有している。一週間の献立表と食事内容の写真を管理栄養士に見てもらい、専門的なアドバイスもらっている。  |      |                                  |
| 78                      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)   | 感染症については、マニュアルが作成され全職員で予防・対策について積極的に取り組み、ノロウイルス対策として、ペーパータオル使用・まな板等の除菌の徹底を図り予防も徹底している。又、利用者様及びご家族様に同意をいただき、全職員共にインフルエンザ予防接種を受けている。 |      |                                  |
| 79                      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 使用する食材は日々業者の方に納品して頂き、生物野菜類などは買いだめしないように新鮮で安全な食材を確保している。衛生管理チェック表を作成し調理前後に確認を行っている。   |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |   |  |      |                                  |
| (1)居心地のよい環境づくり          |   |  |      |                                  |
| 80                      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 入口には季節の花が植えられ、玄関には利用者と職員の手作り物が置かれ、季節の花が飾られている。建物の周辺を利用し野菜を作っている。中庭が有り、茶の間から季節の花や木などが見れる。。  |      |                                  |
| 81                      | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感を取り入れた空間作りは、利用者様と一緒に作ったり飾り付けをしたりし、我が家である意識を高めてもらえるよう工夫をしている。  |      |                                  |
| 82                      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 共有の場にソファがあり、又、畳のスペースもあり一人で過ごしたり仲のよい利用者様同士でくつろげるスペースをつくっている。  |      |                                  |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 83                             | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者様が使い慣れてた日用品や家具が持ち込まれ居心地の良さに配慮している。   |      |                                  |
| 84                             | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 空調設備に工夫がされ床下には白炭敷き詰められ冬は暖かく・夏は涼しくと空気の循環がよく、消臭効果もあり快適な作りになっている。  |      |                                  |
| <b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |   |      |                                  |
| 85                             | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 調理台やシンク洗面所の高さについて、利用者様の使いやすい高さに配慮されている。又、トイレ・廊下浴室の手すりについては自立・安全確保に配慮している。   |      |                                  |
| 86                             | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | 一人ひとりの利用者様の混乱を招くような環境については、その都度職員間で検討し不安な事を取り除き力を取り戻せるようにしている。  |      |                                  |
| 87                             | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | 外周りや、中庭には季節の花々を植えたり果物(イチゴ・ラズベリー)や野菜(ジャガイモ・トマト・ネギ・インゲン等)を植えているスペースがあり収穫時には全員で行い、食事やおやつに取り入れている。玄関先にベンチがあり、散歩後の休憩や日向ぼっこ等に利用出来る様にしている。 |      |                                  |

| V. サービスの成果に関する項目 |  |                       |              |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目              |  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○                     | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○                     | ①毎日ある        |
|                  |  |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |  |                       | ③たまにある       |
|                  |  |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○                     | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |  |                       | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |  |                       | ④ほとんどできていない  |

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |   |                       | ②数日に1回程度     |
|     |   | ○                     | ③たまに         |
|     |   |                       | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | ①大いに増えている    |
|     |   | ○                     | ②少しずつ増えている   |
|     |   |                       | ③あまり増えていない   |
|     |   |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている  |                       | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |   | ○                     | ②職員の2/3くらいが  |
|     |   |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |   | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       |                       | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |   | ○                     | ②家族等の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどできていない  |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者の方の個々のバックグラウンドを大事にし、今までの暮らしが可能な限り継続出来る様な支援を心掛けている。
- ・四季折々の季節感が感じ取られる場所にあり、自然を生かした支援を行なっている。(五感がふるに活性化出来る支援)
- ・行事による外出支援のみならず、個人の要望にそった、個別の外出支援を強化し、外出による楽しみを多く取り入れている。